

東奥日報

2019年(平成31年)3月21日(木曜日) (20)

経験糧に社会へ一歩

八工大で学位記授与式

八戸

八戸工業大学(長谷川明学長)は20日、同大体育館で学位記授与式を行った。工学部209人、感性デザイン学部30人の卒業生と、大学院工学研究科の修了生9人の計248人が、勉強や研究の思い出を胸に学びやを巣立った。

長谷川学長は、2学部の6学科と研究科の課程を修めた代表者に学位記を手渡し、「人間として優しさとたくましさ兼ね備え、高い志と広い視野を持ち社会の発展に貢献してほしい」と告辞した。

両学部を代表し、工学部

生命環境科学科の中野優太さん(22)が「日々変化する社会において専門分野にまい進し、優れた指針を提示

できる人間となるよう努力していく」と謝辞。

大学院で博士号を取得した社会基盤工学専攻の功刀智さん(55)は、社会人生活と並行した研究活動を振り返り「海外の研究者と技術的・文化的に交流できたことは新鮮で有意義な経験だった。修了生は今まで学んだ事柄を糧に、さらなる研磨をしていく」と抱負を述べた。(斎藤義隆)



学科を代表し、長谷川学長(左)から学位記を受ける卒業生

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」